

努力事項解説 その 1 （中学校特別活動）

「学校教育指導の重点」中学校の特別活動の努力事項を解説していきます。今回は、学習指導要領の内容と照らして、以下について考えてみます。

児童生徒の自発的、自治的な活動を通して、望ましい人間関係を築く態度を育成する観点から、話し合い活動を充実させ、**活動内容(1)**「学級や学校の生活づくり」の内容を十分展開できるようにしましょう。

中学校の学級活動の内容は以下のとおりです。
小学校とは次の2点で違いがあります。

- ☐ 「共通事項」を示していないこと。
- ☐ 「③学業と進路」という内容があること。

内容に「学業と進路」が含まれ、小学校に比べて扱う内容が多くなりますので、全ての学年で計画的に実施していくことが大切です。



学級を単位として、学級や学校の生活の充実と向上、生徒が直面する諸課題への対応に資する活動を行うこと。

(1)学級や学校の生活づくり

- ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決
- イ 学級内の組織づくりや仕事の分担処理
- ウ 学校における多様な集団の生活の向上

(2)適応と成長及び健康安全

- ア 思春期の不安や悩みとその解決
- イ 自己及び他者の個性の理解と尊重
- ウ 社会の一員としての自覚と責任
- エ 男女相互の理解と協力
- オ 望ましい人間関係の確立
- カ ボランティア活動の意義の理解と参加
- キ 心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成
- ク 性的な発達への適応
- ケ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成

(3)学業と進路

- ア 学ぶことと働くことの意義の理解
- イ 自主的な学習態度の形成と学校図書館の利用
- ウ 進路適性の吟味と進路情報の活用
- エ 望ましい勤労観・職業観の形成
- オ 主体的な進路の選択と将来設計

次回はなぜ、この学級活動(1)
「学級や学校の生活づくり」
を十分展開することが求めら
れているのか、考えてみま
す。



5月31日(金)頃アップ
の予定です。